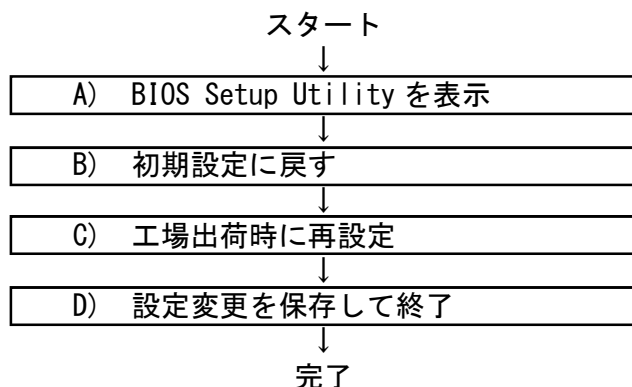


BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、本製品の電源投入直後にキーボードの [Delete] キーを押してください。OS を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



A) 「BIOS Setup Utility」を表示

1) 本製品の電源を ON（入）にします。

電源投入直後、または再起動直後に” ピピ、ピッ！” とブザーが鳴りますので、そのタイミングで [Delete] キーを連打します。



初回通電時は1分程度で鳴ります。

メイン電源を切らなければ、2回目からは 20 秒程度で鳴ります。

2) BIOS 設定のメイン画面が表示されます。

以降いくつかの項目を設定します。

キーボードとマウスを使い設定します。



B) 初期設定に戻す

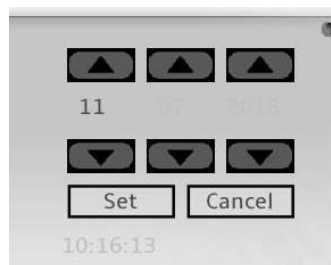
- 1) 任意の画面で、キーボードの [F3] キーを押します。
- 2) 「Load Optimized Defaults」と表示されますので「Ok」をクリックします。
- 3) BIOS が初期値に設定されます。
ここでは日時と時間は変わりません。



C) 工場出荷時に再設定

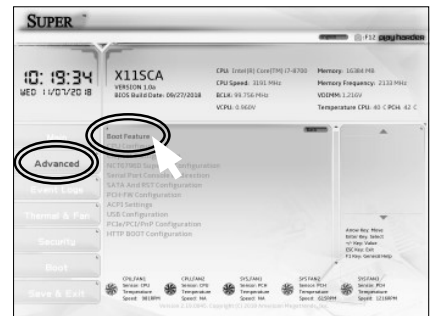
■ 日時と時間の設定が必要な場合

- 1) 左上の「Main」をクリックします。
- 2) 「System Date」の右側の数字をクリックします。設定ボタン（▲▼）が表示されますので、ボタンをクリックし日時を設定します。
- 3) 設定後、「Set」をクリックして確定します。
- 4) 「System Time」も同様に設定します。



■ AC 通電時の起動方法設定

- 1) 左の「Advanced」をクリックします。
- 2) 表示された「Boot Features」をクリックします。
- 3) 「Wake Up From S5 By Keyboard\Mouse」項を（右側を）[Disabled] に設定します。
- 4) 必要に応じて、「AC Loss Policy Depend on」項を [Power On] に設定します。 ※ 1 出荷時の設定は [Last State] です。



Point

ポイント

- ・「Back」ボタンをクリックすることで、1 つ前の画面に戻ることができます。「Esc」キーを押しても同様の効果が得られます。



ご注意

「AC Loss Policy Depend on」項を設定変更しても即座に反映されません。保存した後に、正しいシャットダウンを行わなければなりません。

※ 1: [Power On] 設定した場合は正しいシャットダウンを行ない、AC 電源切断後 30 秒以上経ってから通電することで自動起動します。

■ 外部に UPS (無停電電源) 装置を接続した場合の設定例

- 1) 同じ「Advanced」、「Boot Features」項の以下を設定します。
- 2) UPS 装置の必要に応じて、「DeepSx Power Policies」項を
[Enabled in S4-S5] あるいは [Disabled] に設定します。
出荷時の設定は [Disabled] です。
- 3) UPS 装置の必要に応じて、「Wake Up From S5 by Keyboard Mouse」項を
[Enabled] あるいは [Disabled] に設定します。
出荷時の設定は [Disabled] です。

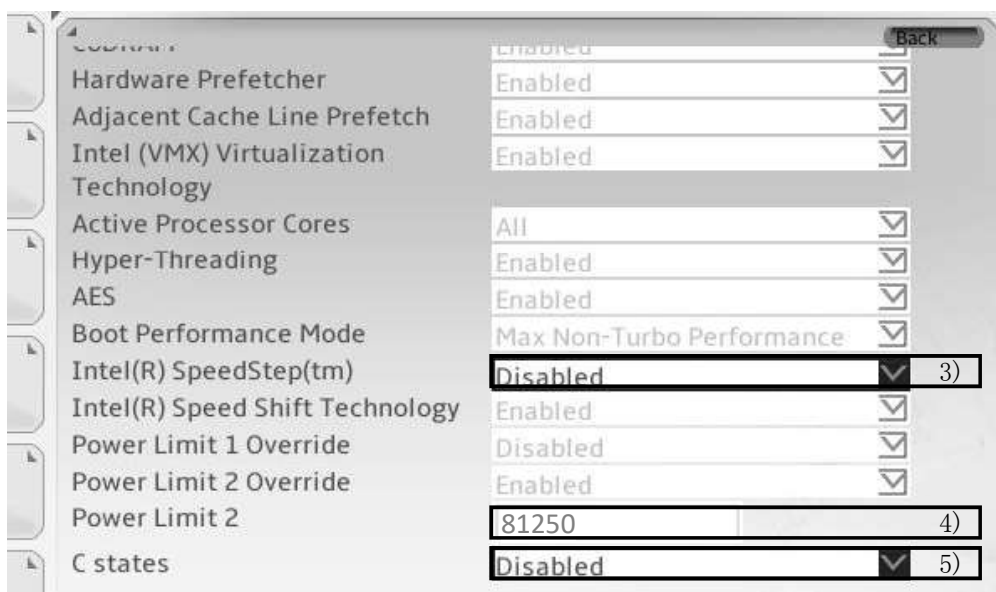
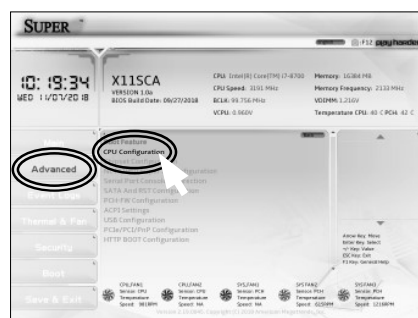


ご注意

UPS 装置が必要とする条件は様々です。本ページの設定は一例であり、全ての UPS 装置の必要条件を満たすものではありません。

■ CPU 設定

- 1) 左の「Advanced」をクリックします。
- 2) 表示された「CPU Configuration」をクリックします。
- 3) 「Intel(R) SpeedStep(tm)」項を [Disabled] に設定します。 カスタム仕様によります。
- 4) 「Power Limit 2」項を [81250] に、キーボードを用い数値を直接入力します。
- 5) 「C states」項を [Disabled] に設定します。 カスタム仕様によります。



ご注意

カスタム仕様により、表示されない項目があったり、本書に記載のない項目が追加表示される場合があります。

■ SATA 機器の設定

1) 左の「Advanced」をクリックします。

2) 表示された「SATA And RST Configuration」をクリックします。

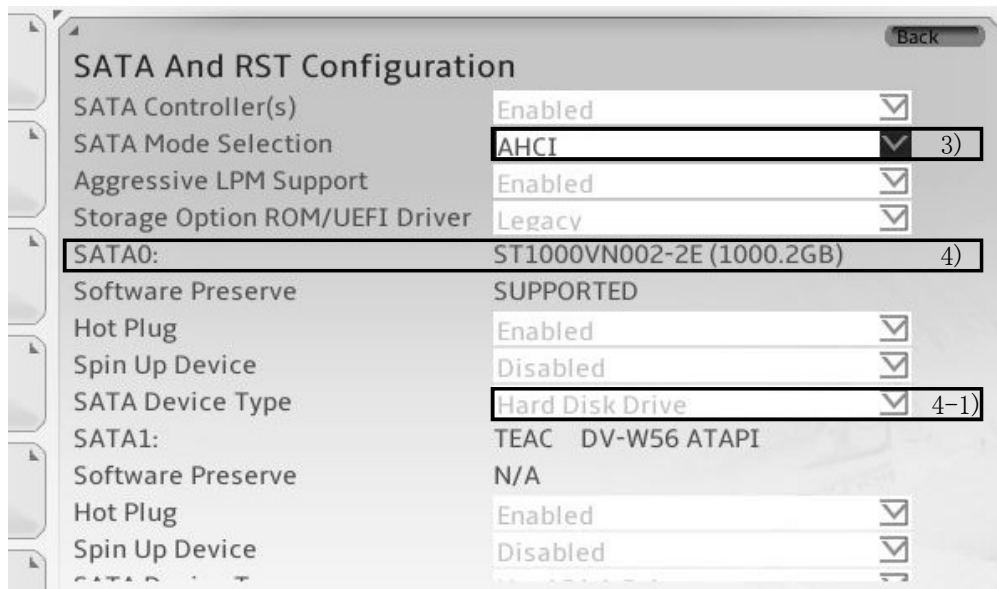


3) 「SATA Mode Selection」項を[AHCI]に設定します。

4) 「SATA0 (Serial ATA Port 0)」や「SATA1」項には接続されている SATA 機器が表示されます。

4-1) 接続している SATA 機器が HDD や DVD ドライブ（光学ドライブ）の場合には
その数行下の「SATA Device Type」項を [Hard Disk Drive] に設定します。

4-2) 接続している SATA 機器が SSD の場合には、
その数行下の「SATA Device Type」項を [Solid State Drive] に設定します。

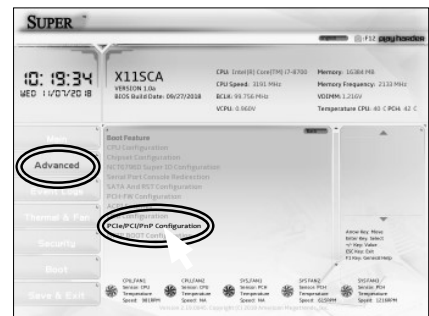


ご注意

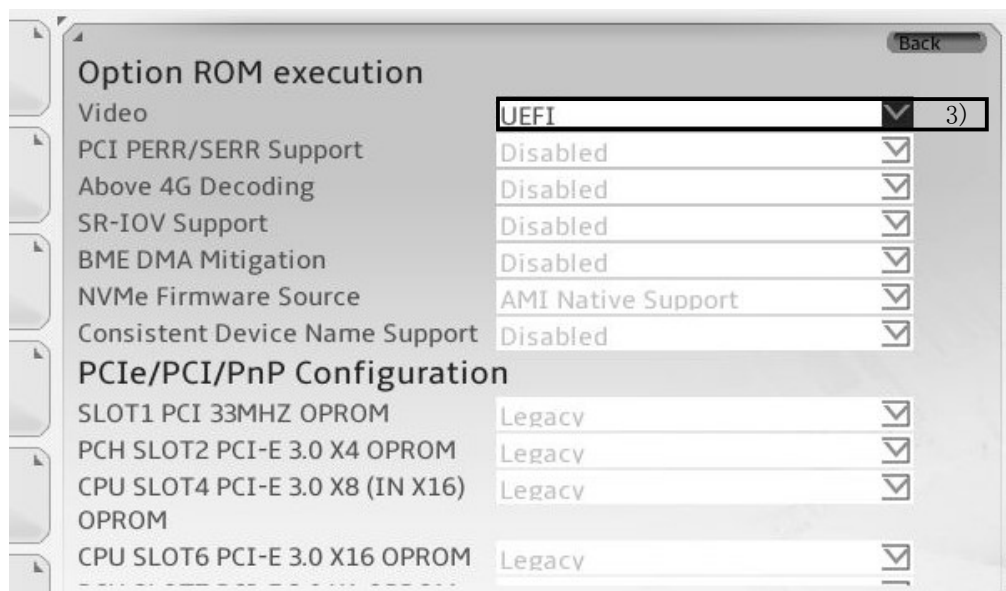
「SATA0」項や「SATA1」項に SATA 機器が接続されていない場合は [Empty] と表示されます。

■ UEFI 設定

- 1) 左の「Advanced」をクリックします。
- 2) 表示された「PCIe/PCI/PnP Configuration」をクリックします。



- 3) 「Video」項を [UEFI] に設定します。



Point

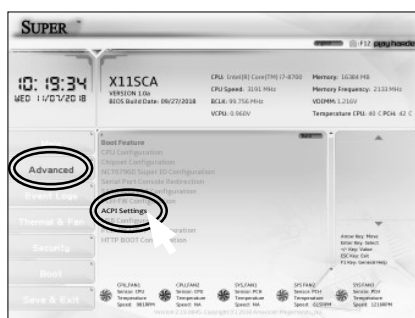
ポイント

選択項の右側 [V] マークをクリックすることで、設定可能な選択肢が表示されます。



■省電力の設定

- 1) 左の「Advanced」をクリックします。
- 2) 表示された「ACPI Settings」をクリックします。

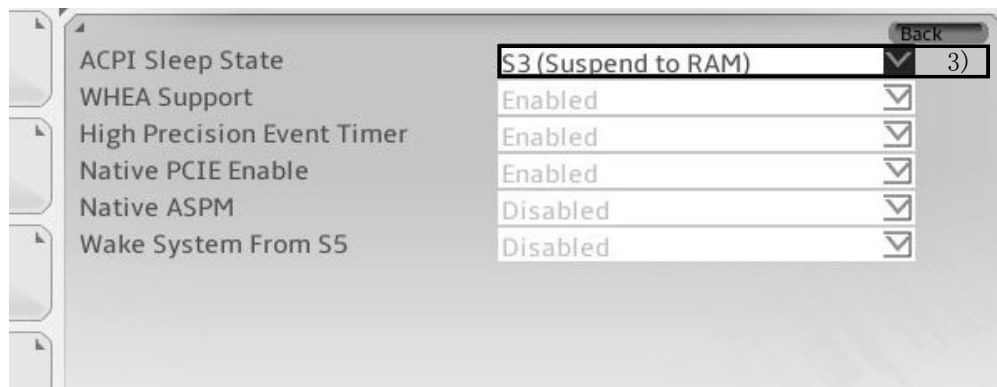


- 3) 「ACPI Sleep State」項をご使用に合わせて設定します。
出荷時の設定は [S3 (Suspend to RAM)] です。



ご注意

省電力設定に未対応のアプリケーションや増設機器があれば、
[Suspend Disabled]（無効）に設定します。



ポイント << Wake on LAN のご使用について >>

- Wake on LAN をご使用になるには、このページの設定が必要です。
[S3 (Suspend to RAM)] に設定します。
- Windows の設定も必要です。 [SP-5] ページ

■ 起動ドライブの優先設定

1) 左の「Boot」をクリックします。



2) 表示された「FIXD BOOT ORDER Priorities」行下に表示される「DUAL BootOrder #x」項を設定し、起動ドライブの優先順を決定します。

未接続ドライブが含まれている場合には、以降のドライブを繰り上げます。

- #1 **UEFI USB CD/DVD** (USB-DVD などが該当します) もしくは
 UEFI CD/DVD (内蔵の光学ドライブが該当します)
- #2 **UEFI Hard Disk: Windows Boot Manager**
 (内蔵の HDD や SSD が該当します)
- #3 以降は設定不要です

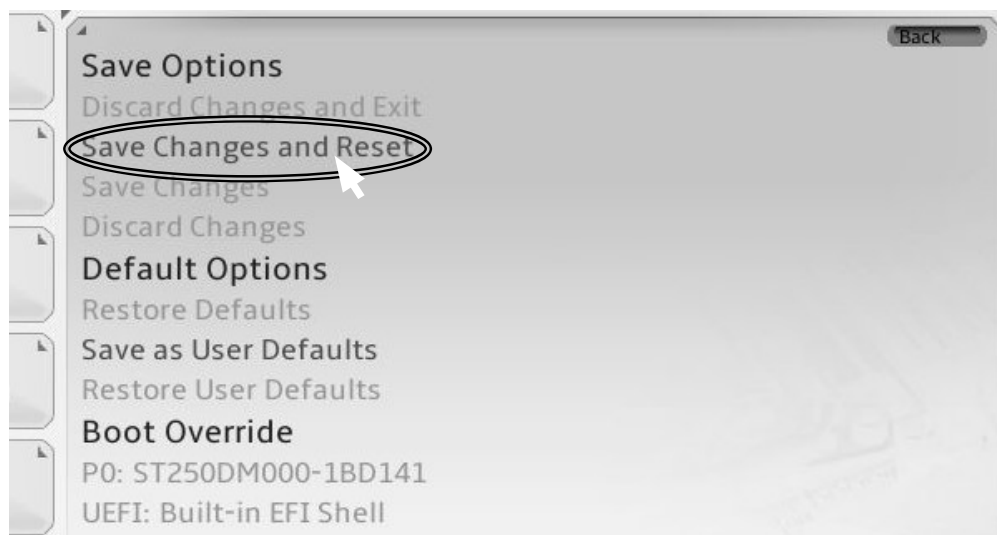


ご注意

カスタム仕様にもよります。

D) 設定変更を保存して終了

- 1) 左の「Save & Exit」をクリックします。
- 2) 表示された「Save Changes and Reset」をクリックします。



- 3) 「Save & reset」と表示されますので、「Ok」をクリックします。
- 4) ここまでの設定変更が反映され、再起動します。



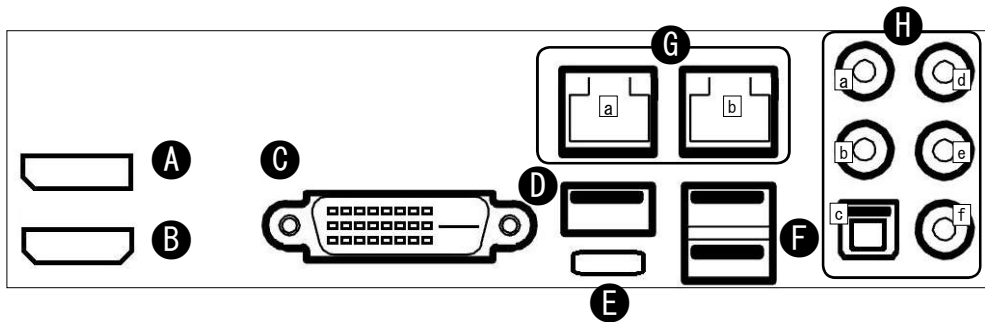
ご注意

「Discard Changes and Exit」を選択し、「Ok」をクリックすると、設定変更が反映されずに終了します。

ユーザーズマニュアル補足

S60 シリーズ

1. 製品背面側のコネクタ



- A) DisplayPort(Ver 1.2) : 最大解像度 3840 x2160(60Hz)
- B) HDMI ポート (Ver 2.0a) : 最大解像度 3840 x2160(30Hz)
- C) DVI-D ポート : 最大解像度 1920 x1080(60Hz)
アナログ信号を出力しません。
- D) USB 3.2 Gen2 1 ポート (Type-A)
- E) USB 3.2 Gen2 1 ポート (Type-C) USB パワーデリバリー (PD)、
オルタネートモード (Altanate Mode) に対応しません。
- F) USB 3.2 Gen1 2 ポート (Type-A)
- G) LAN : 2 ポート。Gigabit(10/100/1000 Mbits/sec)
 - a : Intel(R) I219-LM
 - b : Intel(R) I210-AT
- H) オーディオ機器を接続します。
 - a : Center/LFE Out
 - b : Surround Out
 - c : SPDIF Out
 - d : Line In
 - e : Line Out
 - f : Mic In



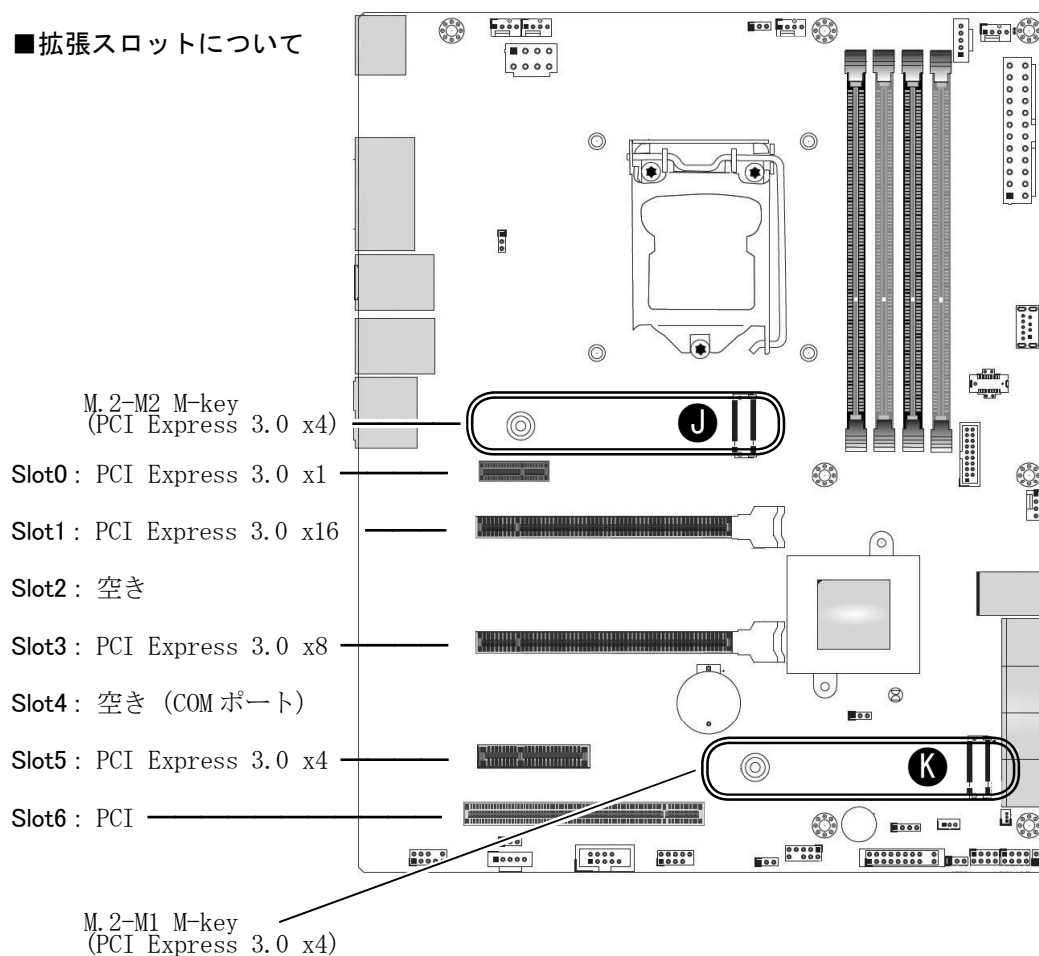
ご注意

DVI-D ポートはアナログ信号を出力しません。

DVI-D ポートのコネクタ形状が DVI-I に似通っていますが、アナログ信号を出力しないため、アナログモニターを接続しても表示できません。

2. 製品内部のコネクタ

■拡張スロットについて



J : M.2-M2 スロット M-Key

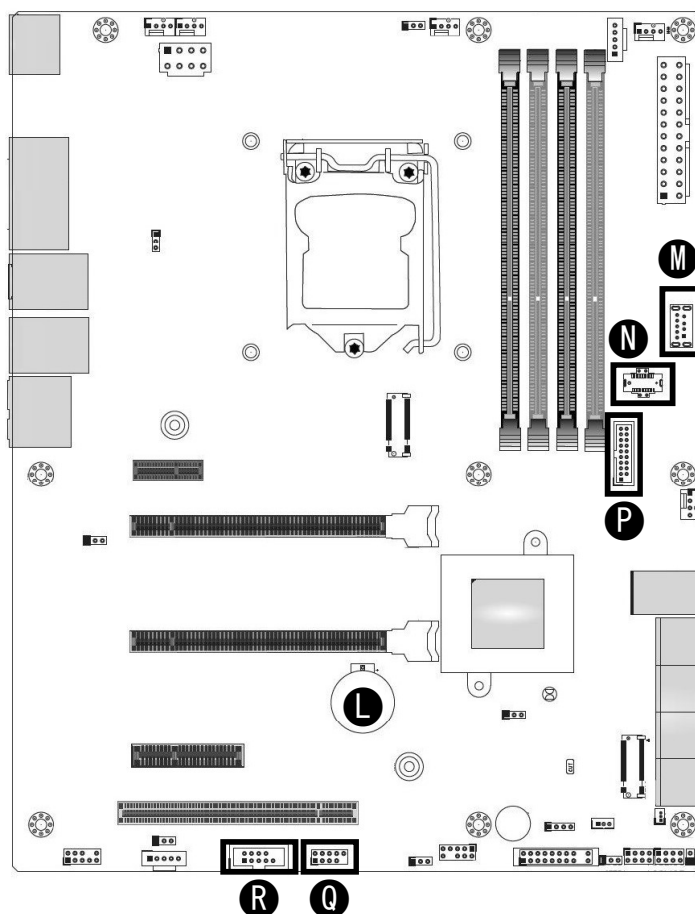
K : M.2-M1 スロット M-Key



ご注意

- PCI Express x16 スロットを 16 レーンで使用するとき、PCI Express x8 スロットをお使いいただけません。PCI Express x8 スロットを 8 レーンで使用するとき、PCI Express x16 スロットは 8 レーンに制限されます。
- M.2-M1 スロット及び M.2-M2 スロットは、M.2 PCIe(NVMe) 対応 SSD のみ使用できます。装着可能サイズは 2242/2280/22110 です。
- (M.2 SSD RAID を除く) M.2 SSD ヘリカバリする場合光学ドライブを除く、全ての SATA 接続機器を外してください。
- M.2-M1 スロット (K) に M.2 SSD を装着している場合、Slot5 の PCI Express 3.0 x4 スロットはお使いいただけません。どちらか一方の排他使用です。

■コネクタについて



- L: 電池ホルダー リチウム電池 CR2032 装着済み。
 コイン型やボタン型と称されることもある一次電池です。
 リチウムイオン電池（二次電池）ではなく、充電することもできません。
- M: USB 3.2 Gen2 1ポート (Type-A)
- N: USB 3.2 Gen2 1ポート (Type-C ヘッダー) USB パワーデリバリー (PD)、
 オルタネートモード (Altanate Mode) に対応しません。
- P: USB 3.2 Gen1 2ポート ヘッダー
- Q: USB 2.0 1ポート ヘッダー
- R: シリアル (COM) 1ポート ヘッダー (COM 1) シリアル (COM) ポート (RS-
 232C) ケーブルを接続し、Slot4 に装着しています。



ご注意

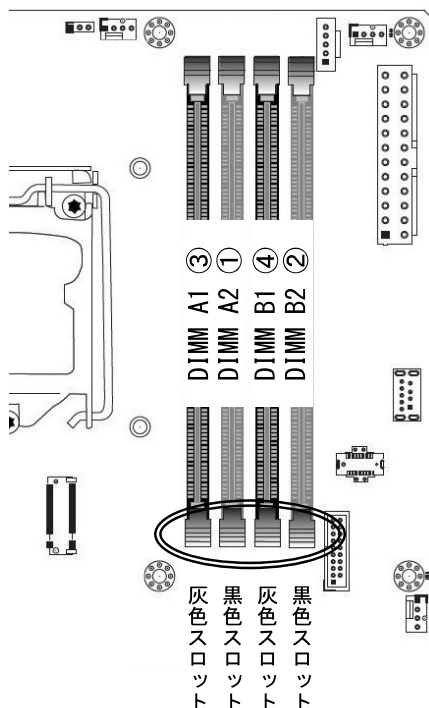
本書では「USB 3.2」と表現しています。
 USB 規格により名称が複数あり、右の例の場合
 いずれも同じ意味です。

USB 3.2 Gen1
 USB 3.1 Gen1
 USB 3.0

3. ご注意

■メモリスロットについて

- 1) メモリーモジュールが1つ（一枚）の場合は、①に装着します。
- 2) メモリーモジュールを複数増設する場合、同じ仕様のメモリーモジュールをお使いくださいますよう推奨いたします。同じ仕様のメモリーモジュールを二枚一組でお使いになることで「Dual Channel モード」が機能します。
 - 2-1) 同じメモリーモジュールが2つの場合は、①と②に装着します。
 - 2-2) 同じメモリーモジュールが4つの場合は、①～④に装着します。
 - 2-3) 容量が異なるメモリーモジュールが4つの場合は、①と②に同容量のメモリーモジュールを、③と④に同容量のメモリーモジュールを装着します。このとき、③と④のメモリーモジュールよりも容量が多い（大きい）メモリーモジュールを①と②に装着します。



ご注意

- ・DDR4-2133 のメモリーモジュールを装着している場合、データ転送速度の上限が「2133」に制限されます。
- ・本製品は、DDR4-2133 よりも上位のデータ転送速度に対応したメモリーモジュールを装着することができます。
DDR4-2666/2400/2133 SDRAM (Unbuffered / Non-ECC / Non-registered)
- ・本製品に装着した CPU が Celeron G4900 の場合で、装着したメモリーモジュールが DDR4-2666 であってもデータ転送速度の上限は「2400」に制限されます。このような事象は CPU 仕様によるもので、本製品の制限です。
- ・転送速度や規格、容量が異なるメモリーモジュールが混在しますと、正常動作しない場合があります。正常動作する場合であっても、最も下位仕様のメモリーモジュールに合わせて動作します。このような場合「Single Channel モード」で機能する場合があります。
- ・メモリスロットの片側のレバー (PCI Express スロットに近い側 右上図の ○部) は、固定されています。

■ LAN ポートについて

1) LAN ポートの順番

Windows の場合、2 つの LAN ポートが「イーサネット」、「イーサネット 2」のように表示されます。カスタム仕様により、LAN ポートの表示名が変わる場合があります。



2) Wake on LAN

BIOS 設定により、Wake on LAN 機能は有効です。

Wake on LAN 機能をお使いになる LAN ポートを、Windows のデバイスマネージャーより、Wake on LAN 関連項を有効設定ください。設定後、Windows を正しくシャットダウン終了することで、準備が整います。

設定後に主電源（AC 電源）を切断した場合は、Wake on LAN の機能が解除されます。解除後であっても、Windows を正しくシャットダウン終了することで、再び準備が整います。

カスタム仕様によっては、デバイスマネージャーに Wake on LAN の設定項目が無く、設定するための「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」がインストールされています。「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」で該当する LAN ポートが表示されなかったり、サポート外と表示される場合には、Wake on LAN 機能をご利用いただくことができません。これらは本製品の制限です。



ご注意

「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」は管理者権限で実行します。

MEMO: